



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月11日

上場会社名 株式会社ルックホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 8029 URL <https://www.look-holdings.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澁谷 治男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 斉藤 正明 (TEL) 03-6439-1701
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日~2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	36,525	△7.6	781	△44.8	1,009	△39.5	621	△37.1
2024年12月期第3四半期	39,517	△1.0	1,415	△33.8	1,668	△36.8	987	△42.9

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 1,115百万円(△51.5%) 2024年12月期第3四半期 2,302百万円(△49.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	83.36	—
2024年12月期第3四半期	133.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	61,985	38,207	61.6
2024年12月期	61,410	37,776	61.5

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 38,207百万円 2024年12月期 37,776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期(予想)				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	52,000	△5.0	2,200	△13.1	2,400	△16.7	1,700	△11.7
								228.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細につきましては、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年12月期3Q	7,796,313株	2024年12月期	7,772,113株
2025年12月期3Q	319,192株	2024年12月期	341,278株
2025年12月期3Q	7,452,915株	2024年12月期3Q	7,406,482株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」及び「従業員向け株式給付信託 (J-ESOP)」を導入しており、期末自己株式数には当該信託に残存する自社の株式を含めております。また、当該信託に残存する自社の株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策により緩やかな回復の動きが見られました。一方で、米国の通商政策の影響による企業収益の停滞や、生活必需品を中心とした恒常的な物価上昇による実質賃金の減少が続くなど個人消費が伸び悩み、全体として不確実性を含む推移となりました。さらに、地政学リスクの長期化や、世界経済の減速懸念等わが国の景気を下押しするリスクの高まりもあり、先行き不透明感が増しております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、訪日外国人によるインバウンド消費の減速が見られることに加え、生活防衛意識の更なる高まりや記録的な高温が続いたことで秋物需要が低迷するなど、総じてマイナス基調で推移しました。

このような状況の中、当社グループは、2028年を最終年度とする中期経営計画の基本政策に掲げる「収益基盤の更なる拡大」、「資本政策の充実化」、「ESG戦略の強化」に取り組んでまいりました。安定した事業基盤の構築として、主力ライフスタイルブランドの新規出店やブランド価値向上を目的としたイベントを実施してまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、365億2千5百万円(前年同期比7.6%減)、営業利益は7億8千1百万円(前年同期比44.8%減)、経常利益は10億9百万円(前年同期比39.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億2千1百万円(前年同期比37.1%減)となりました。

セグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

(アパレル関連事業)

「日本」につきましては、「イル ビゾンテ」において、ブランド創業55周年を記念した日本限定コレクションやスモールレザーグッズの販売が好調に推移したことに加え、新規出店が寄与したことにより、売上高が拡大いたしました。また、日本初となるイタリアの職人の技術を披露するイベントを実施するなど、ブランド価値向上に取り組まれました。「マリメッコ」においては、デニムコレクションなどの販売が好調に推移したほか、ECサイトにおいてバッグカテゴリーが好調に推移した結果、売上高が堅調に推移いたしました。一方、アパレルブランドでは、記録的な高温が続いたことで夏物セール販売は伸長したものの、秋物販売が苦戦いたしました。また、引き続き主力ブランドにおいて専門店からの受注減により卸売販売が減少した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は176億8千万円(前年同期比0.1%減)、営業利益は10億7千8百万円(前年同期比0.9%減)となりました。

「韓国」につきましては、新政権の発足に伴い、消費者心理における一時的な回復が見られたものの、米国の通商政策の影響等、景気を下押しするリスクは払拭されておらず、引き続き動向を注視する必要があります。株式会社アイディー룩、株式会社アイディージョイにおきましては、自社ECサイトの「I.D.LOOK モール」やアウトレットでのセール販売については堅調に推移をしたものの、百貨店インショップにおいて、記録的な高温により秋物販売が苦戦したことで、売上高が減少しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は174億2千3百万円(前年同期比14.1%減)、営業利益はセール販売比率の増加に伴い粗利率が低下したことなどにより、3億5千7百万円(前年同期比62.4%減)となりました。

「欧州」につきましては、主力の卸売事業において欧州域内の受注額が減少いたしました。主にイタリアの直営店が観光需要を背景に順調に推移した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は24億1千8百万円(前年同期比1.6%増)、営業損失は2億6千5百万円(前年同期は2億6千5百万円の営業損失)となりました。

「その他海外」(米国・東南アジア)につきましては、米国において、「イル ビゾンテ」の小売事業、卸売事業ともに堅調に推移しました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3億1千8百万円(前年同期比9.2%増)、営業損失は4千4百万円(前年同期は6千1百万円の営業損失)となりました。

これらの結果、アパレル関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は378億4千1百万円(前年同期比6.9%減)、営業利益は11億2千4百万円(前年同期比34.3%減)となりました。

(生産及びOEM事業)

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、グループ内及び外部への売上高がともに減少した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は15億5千5百万円(前年同期比21.1%減)、営業利益は2千万円(前年同期比57.8%減)となりました。

(物流事業)

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、グループ内及び外部への売上高が増加した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9億3千9百万円(前年同期比10.0%増)、営業利益は4千7百万円(前年同期比62.7%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が13億7千2百万円、受取手形及び売掛金が12億4千2百万円、仕掛品が5億4千6百万円、それぞれ減少しましたが、商品及び製品が30億6千4百万円、のれんが4億6百万円、マーケティング関連資産が3億円、それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ5億7千4百万円増加し、619億8千5百万円となりました。

負債は、未払法人税等が2億5千6百万円、未払費用が2億2千万円、借入金が2億8百万円、それぞれ減少しましたが、支払手形及び買掛金が8億1千1百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億4千4百万円増加し、237億7千7百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が4億5千4百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ4億3千万円増加し、382億7百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、61.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、2025年8月1日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,144	6,771
受取手形及び売掛金	5,961	4,718
商品及び製品	13,250	16,314
仕掛品	1,134	587
原材料及び貯蔵品	541	576
その他	845	717
貸倒引当金	△50	△36
流動資産合計	29,826	29,649
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,201	2,203
土地	599	596
その他（純額）	1,042	1,007
有形固定資産合計	3,843	3,806
無形固定資産		
マーケティング関連資産	11,835	12,136
のれん	3,338	3,745
その他	959	749
無形固定資産合計	16,133	16,630
投資その他の資産		
投資有価証券	6,186	6,196
退職給付に係る資産	1,285	1,437
繰延税金資産	1,635	1,742
敷金	2,181	2,166
その他	423	463
貸倒引当金	△132	△129
投資その他の資産合計	11,580	11,877
固定資産合計	31,558	32,314
繰延資産		
社債発行費	25	21
繰延資産合計	25	21
資産合計	61,410	61,985

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,395	3,207
短期借入金	445	648
1年内返済予定の長期借入金	1,743	1,452
未払金	185	168
未払費用	2,089	1,869
未払法人税等	628	371
未払消費税等	226	47
賞与引当金	133	317
ポイント引当金	8	9
資産除去債務	90	36
その他	575	348
流動負債合計	8,521	8,475
固定負債		
社債	1,500	1,500
長期借入金	7,559	7,438
繰延税金負債	4,825	4,982
退職給付に係る負債	314	332
役員退職慰労引当金	—	1
株式給付引当金	73	89
資産除去債務	221	254
その他	616	703
固定負債合計	15,111	15,302
負債合計	23,633	23,777
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,447	6,476
資本剰余金	1,716	1,746
利益剰余金	22,638	22,483
自己株式	△614	△582
株主資本合計	30,187	30,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,783	2,766
繰延ヘッジ損益	23	△0
為替換算調整勘定	4,207	4,661
退職給付に係る調整累計額	573	655
その他の包括利益累計額合計	7,588	8,083
純資産合計	37,776	38,207
負債純資産合計	61,410	61,985

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年9月30日)
売上高	39,517	36,525
売上原価	16,073	14,428
売上総利益	23,444	22,097
販売費及び一般管理費	22,029	21,316
営業利益	1,415	781
営業外収益		
受取利息	65	46
受取配当金	92	110
為替差益	58	—
権利金収入	—	107
その他	166	166
営業外収益合計	383	431
営業外費用		
支払利息	79	96
為替差損	—	57
固定資産除却損	5	8
その他	44	40
営業外費用合計	129	203
経常利益	1,668	1,009
特別利益		
資産除去債務戻入益	1	15
投資有価証券売却益	—	247
特別利益合計	1	262
特別損失		
減損損失	35	39
ブランド撤退損失	—	25
退職特別加算金	36	—
その他	—	0
特別損失合計	71	64
税金等調整前四半期純利益	1,598	1,206
法人税等	610	585
四半期純利益	987	621
親会社株主に帰属する四半期純利益	987	621

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	987	621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,087	△17
繰延ヘッジ損益	△19	△23
為替換算調整勘定	88	454
退職給付に係る調整額	158	82
その他の包括利益合計	1,314	494
四半期包括利益	2,302	1,115
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,302	1,115

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社において、税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	アパレル関連事業					生産 及び OEM事業	物流 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	韓国	欧州	その他 海外	計					
売上高										
外部顧客への 売上高	17,681	20,189	710	292	38,872	612	32	39,517	—	39,517
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	9	90	1,669	—	1,769	1,359	821	3,951	△3,951	—
計	17,691	20,279	2,380	292	40,642	1,972	854	43,469	△3,951	39,517
セグメント利益 又は損失(△)	1,088	950	△265	△61	1,712	48	29	1,790	△375	1,415

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、マーケティング関連資産及びのれんの償却額△531百万円、セグメント間の取引に関わる調整額1,650百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,493百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

[関連情報]

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	韓国	欧州	米国	東南アジア	合計
18,326	20,189	710	292	—	39,517

(注) 欧州に属する主な国または地域：イタリア、フランス

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	アパレル関連事業					生産 及び OEM事業	物流 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	韓国	欧州	その他 海外	計					
売上高										
外部顧客への 売上高	17,649	17,340	725	318	36,035	412	77	36,525	—	36,525
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	30	82	1,693	—	1,806	1,142	862	3,810	△3,810	—
計	17,680	17,423	2,418	318	37,841	1,555	939	40,336	△3,810	36,525
セグメント利益 又は損失(△)	1,078	357	△265	△44	1,124	20	47	1,193	△412	781

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、マーケティング関連資産及びのれんの償却額△536百万円、セグメント間の取引に関わる調整額1,660百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,535百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

[関連情報]

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	韓国	欧州	米国	東南アジア	合計
18,140	17,340	725	299	19	36,525

- (注) 欧州に属する主な国または地域：イタリア、フランス
東南アジアに属する主な国または地域：シンガポール

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	1,289百万円	1,266百万円
のれんの償却額	171	201